

丸山湿原群保全の会会報

(第 192 号)

発行日：2023 年 (R5) 7 月 12 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com

戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！

「30by30 (サーティ・バイ・サーティ)」という言葉をご存知でしょうか？2030 年までに国土の 30%以上 (陸域 30%と海域 30%) を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。2021 年の G7 サミットでの約束。G7 で決まったことなのだから大丈夫な訳ではありませんが (実は全然あてにならないのでは?) 国レベルの約束。環境省が中心ですがこれも最もあてにならない (お金を持っていない) 省庁。目標に向けて様々な機関が動き出しています。ネイチャーポジティブ (2030 年までに生物多様性の損失を食い止め反転させるという目標) が最終目標。きっと農水省や国交省も動き出しているはず。温室効果ガスの 46%削減目標も 2030 年。(2013 年度比) この年は人類にとって鍵となる年か? 会議の都合だけか? …意識低いけど。

関連して OECM という試みも始まっています。OECM とは「保護地域以外で生物多様性保全をする地域」のことで、国立 (定) 公園や天然記念物などの保護地域だけでは「30by30」を達成できないので「重要里地里山」等に指定されている地域 (場所) を積極的に登録することです。(個人・企業、広さを問わない。ただし審査あり。) これは日本のみならず「国際データベース」に登録され、世界から「健全な生態系」が認められるということです。

登録が今年度より始まっています。西谷地域は環境省より「重要里地里山」に選定されています。登録すれば「ブランド力」は上がること間違いなし。認定ロゴもある? ご興味のある方はぜひご検討ください。詳しくは「OECM」で検索。もしくは下記サイトをご覧ください。

↓ クリック

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

環境省の回し者のような内容ですな～ いや! 地球のためです…多分

(今住 7 月 10 日作成)

小学校環境学習 ★6月23日(金) 座学(フィールド①)

約1ヶ月のインターバルを経ていよいよ丸山湿原へ! 4年生は4度目。保護者も3名参加。教師3名(校長を含む)ガイド3名。(若干の遅刻者あり…あかんがな) 結局、児童10名(3年と4年)大人9名でのフィールド活動となりました。大人と子どもがほぼ同数。とってもいい感じ。多様な発見がありそうです。天候は曇り。気温は蒸し暑いがそれほど暑くはない。こちらもいい感じ。



ドクダミは臭い はよ行きましょう

「しゅっぱーつ!」「おー!」の掛け声とともに湿原へ。と思いきや、いきなりドクダミ(毒痛み)に足止めを…「十薬(じゅうやく)とも言って…」とうんちくが。「どこにでもある草や」との声も。その通り。干してお茶にも。十薬というぐらいですから薬効は十分。ひょっとしたら家に干してある



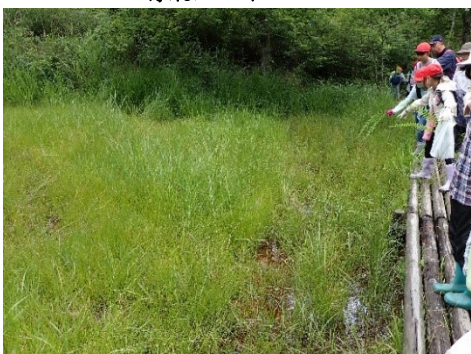
カンサイスノキと実 すっぱ!

環境学習や」と思われそうですので、喉の渇きを潤す程度に。大人も食べて「すっぱ!」と声が上がっていました。若干癖になる葉っぱです。実がまた酸っぱくて…いい!

竹筒ポストに小石を。「さあ湿原」と思ったところに小川が…入るわな。となるとサワガニ(沢蟹)探し。最近のカニ捕りもなかなかできない。「危険・危険」がつきまといます。ま〜そうなんでしょうが、冒険ができない環境になっている?している?のが実情。マムシがいてもおかしくはない場所。でも家の前の草むらにもいるのが普通。(気づいていないだけ)そこでどう暮らしていくかの知恵を身につけるのも環境学習の目的。今は大人もヘビ1匹見つけたら大騒ぎしますからね。それが普通?なんですが…とにかくカニ探しの始まり。先頭はガイド。昔取った杵柄



水はいいね〜



ほら そこにハッチョウトンボ

ウラジロは二又なのでどっちの先か分かりにくかったのですが、見つけたときは例によって「ちっちゃ!」今年は数も多い。まず見つからないことはありません。ただ、「いる」と思って探さないと見つけれない。世界最小クラスのトンボです。玉瀬に新産地が見つかったという情報も。環境が良くなったせいかわかりませんが、ハッチョウトンボが住める環境が西谷に増えてきているのかもしれない。放棄田によく出るそうなので(遷移途中?)…う〜ん悩ましい。

カキラン(柿蘭)もたくさんありましたがあまり興味はないような。

ところも。ぜひお手軽な「お茶」でお試してください。匂いを嗅いで「おえっ〜くっさー」という声もありましたが、「爽健美茶」にも入っているお墨付き。学校にもある(いわゆる雑草)と思うので「理科」か「総合」で実験するのもどうでしょう。

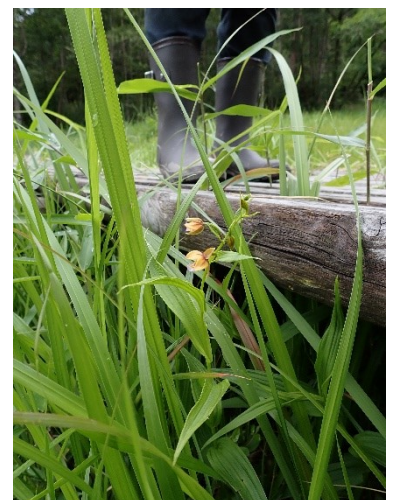
進まねば。次に足止めを食らうのは「木の葉っぱ」。食べなければ。そうです大人気のカンサイスノキ(関西酢の木)。昨年ためらっていた4年生が積極的に、まさしく食らいついてきます。朝ごはん食べてないのか?「丸山でお腹いっぱい『木の葉っぱ』食べてきた」と言うのも「なんちゅう



サワガニ全部捕まえるぞ!

で丁寧に石をめくっていきます。「おった!」のひと声に子どもたちから「尊敬?」のまなざしが。ところが、一度見ただけでやり方は十分理解。見つける見つける。捕る捕る。「この川からサワガニが絶滅するのでは…」との不安もよぎりました。持って帰って給食調理員さんに素揚げにしろという案も出ましたが、結局学校で飼育してみようという結論に。まだ活動の前半ですが、レジ袋に10匹ぐらい、水も入れての移動となりました。さて御難のサワガニはどうなっているのでしょうか?全滅もありうるな。飼育は結構難しい…だから食べればいいのに。と思いつつながら私は食べません。旅館で出てきたら食べます。

湿原とうちゃ〜く。最初の第3湿原でいきなりハッチョウトンボ(ハ丁蜻蛉)がお出迎え。最近木道近くにいつもいます。写真は小さいですが、子どもがウラジロ(裏白)の先で「それ、それ」と校長先生に説明しています。



足元にもカキラン



前立て？旗指物？ウラジロは人気

動くもの食べるものに興味津々。今回、**タムシバ（田虫葉）**も「おいしい」と言って食べていたのには驚きました。「歯磨きみたい」と。大人も食べていました。後味がね～。**クマイチゴ（熊莓）？ニガイチゴ（苦莓）？**はやはりおいしい。もう少し早ければ最も「美味？」なナガバモミジイチゴがあったのにね。残念。あと恒例の「ウラジロ前立て」はやはり人気。「後ろ立て」になってますが。時には「後ろ盾」も必要なときもあるでしょう。違うか？なんやかんや言いながら、大人も子どもも楽しく（少なくとも私は）過ごすことができました。最後は恒例の「今日の給食なに？」の質問に「知らん…」と冷たくあしらわれました。次回は秋。何がおいしいでしょうか？いや学べるでしょうか。お待ちしております。



「給食何やろな」と帰りの乗り込み

定期活動・総会 ★6月25日（日）午前作業・午後総会

6月の第4土曜日は総会を計画するのですが、「村の作業」も毎年この日。なぜか計画してから気が付きます。総会自体は午後なので問題ないのですがあわただしい。



黙々と作業は進んでいました

口」をたたくことなくテキパキと行動されていました。太い倒木にはチェーンソーが久しぶりに活躍。枯れ松はまだあったのですが、車が多く停まっていたこともあり後日にと。（伐るかな？）数時間で入口にふさわしいすっきりした環境になりました。すっきりしたら後日「ごみ」が捨てられるのですが…悲しい。

午後の総会は「夢プラザ」で。総会員32名（法人会員を含む）の内17名出席、委任11名で総会は成立。議案全て承認されました。活動

の方針として「再生

（劣化防止）？活動」をしっかりとやっていこうと話し合いました。具体的には第1湿原中央部の水路封鎖。「生分解性土嚢」を利用して北側の水位を上げ湿地面積を広げる、同時にシルトの流出スピードも抑えられるのでは？という提案。実施できるか、問題点はないか慎重な検討が必要ですが作業する予定です。難しいかも…いや実現したい。みっともない風景はご免ですがね。これまで横木を入れるなど計画倒れは多数。（少しは実現）今回はやりましょう。



ヨモギ仙人と監督の奇跡のコラボ



棚が作られた整備場所

定期活動 ★7月8日(土)

基礎調査 観察 ゴミ回収 8名で活動

目的	市内	市外
丸山湿原	56	61
登山・ハイキング	43	47
散歩	7	9

来場者数計 223 人
(竹筒ポスト集計)

今回の EC は通常に戻っています。前回の原因は不明。何かミスがあったのかもしれませんが。昨年とほぼ同じ水準の数値です。これから暑くなると水の不足と有機物の分解が進むことで EC は高くなっていきます。

この日、気温はそうでもないのですが湿度が高い。85%~90%越え。空気を吸うだけでおぼれる



廃棄された家庭ごみ



ミカツキグサとハッチョウトンボ



ヒメアカネ?マユタテアカネ?

ように。雨も降りだしそう。何もしなくてもイライラ感が…
追い打ちをかけるように、先日草を刈った駐車場付近に「**家庭ごみ**」の廃棄物が。ポン酢、ゴマ油などのビン類。焼き肉のたれ容器。未開封の梅干し、食べかけの明太子サケフレークなど。最初はバーベキューのゴミか?とと思っていましたが、仏前にお供えする水蓮パックの砂糖まで。どうやら家からのゴミのようです。何か事情があるのかもしれませんが、ちゃんと処分するのが邪魔くさく、人目のつかない丸山湿原駐車場へ廃棄。車を端に止めれば誰にも見られず藪の中に、ということか…。結局会員が分担して持ち帰り。ビンは中身を出して洗って分別ごみとして処分しました。臭い、汚い…情けない。ま〜どこにでもこんなことをする人はいるものですが…悲しい。**あきまへんで!**
湿原は**ミカツキグサ(三日月草)**が咲き始めました。地味ですが、ハッチョウトンボとのコラボがいい。北方系の植物と南方系の昆虫。いい感じ。しかもハッチョウトンボは**アギナシ(顎無し)**の先に停まっています。こちらもそろそろ花を咲かせる時期。日照が少ないのか今年は遅れ気味?コバノトンボソウもほとんど見られない。じき出てくるとは思います。その代わりに、ではありませんが、歩道近くで**オオバノトンボソウ(大葉の蜻蛉草)**の開花株を発見。この子は「おいしい」のか株を見つけていてもなかなかきれいに咲いた姿を見ることがありません。特に珍しい植物でもないのですが…シカ?ウサギ?私はウサギ説支持。トレイルカメラにもよくニホンノウサギが写っています。シカ(鹿)の方が圧倒的ですがどうでしょう?第4湿原入口付近で熱心にカメラを構えている方がおられました。「何を狙ってるのですか?」声掛けすると「**ヒメアカネ(姫茜)**」と。ちょっと早いような…私もパシヤリ。よく見ると「鼻斑紋(びはんもん=豚鼻?)」があるような。「**マユタテアカネ(眉立茜)**」?さてどっちでしょうか?**いよいよサギソウの季節が近づいて来ました**。本年も**開花数調査を実施**します。**8月20日(日)**に決定!ぜひご参加ください。(詳細は、後日HPで)



立派なオオバノトンボソウ

次回活動日 7月23日(日) 8月12日(土) 20日(日) サギソウ開花数調査 27日(日)